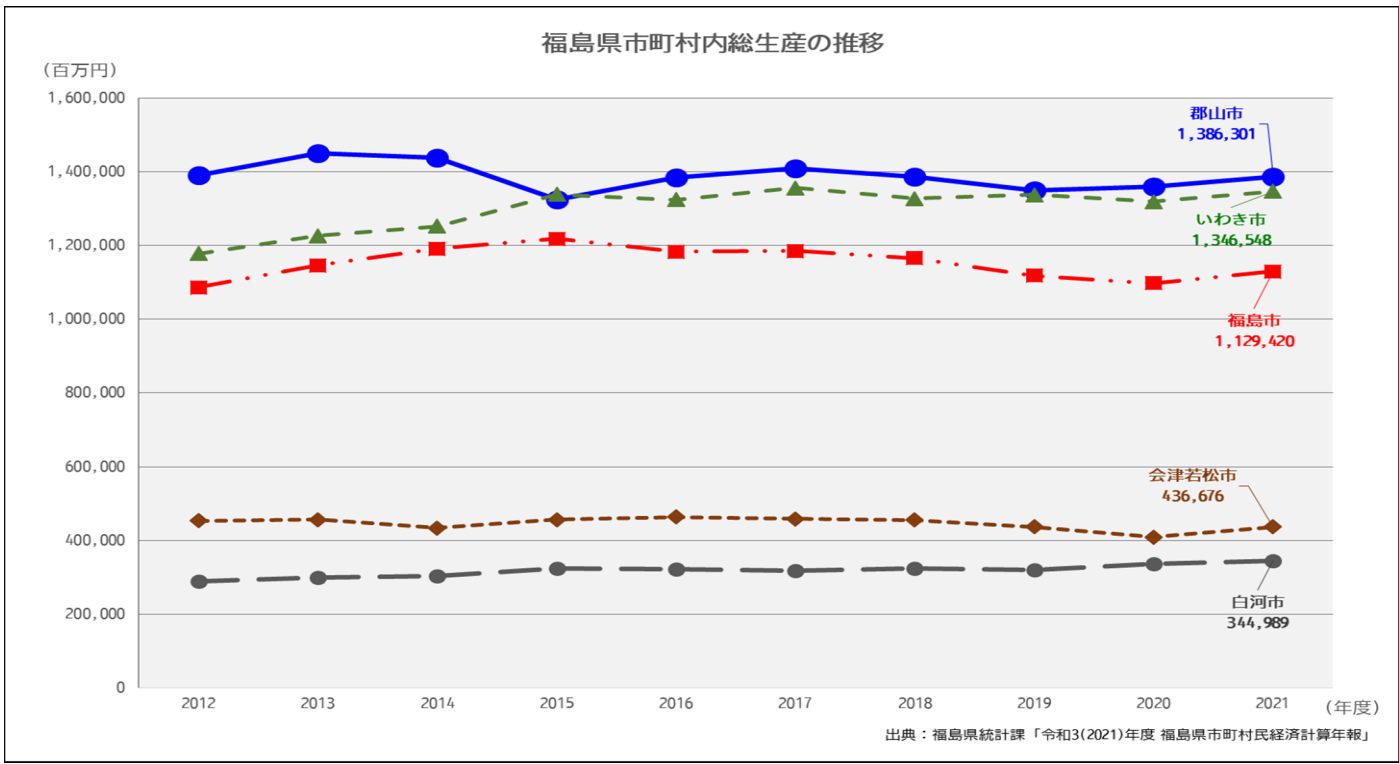


福島県市町村民経済計算「市町村内総生産」(2012-2021年度)の推移

- 令和3(2021)年度の福島県経済は、建設業が減少した一方、国内外で新型コロナウイルス感染症からの経済活動の回復が進み、製造業が増加したため、県内総生産は名目で7兆8,447億円となった。経済成長率は名目で0.6%、実質で1.5%と、ともに4年ぶりのプラスとなった。
- 県内の市町村内総生産が大きい市町村は、郡山市、いわき市、福島市の順となっており、この3市のみが1兆円を超え、合計すると県内総生産の約49%を占める。
- 本市の市町村内総生産の推移をみると、林業、水産業、製造業、卸売・小売業、金融・保険業等が増加し、2021年度 県内第1位の1兆3,863億円となる。



■令和3(2021)年度 市町村内総生産 上位10市町村 (単位：百万円)

順位	市町村名	2012年度 (H24)	2013年度 (H25)	2014年度 (H26)	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	対県構成比(%)
1	郡山市	1,389,834	1,450,997	1,436,928	1,325,140	1,383,376	1,408,773	1,386,412	1,349,821	1,359,544	1,386,301	(17.7)
2	いわき市	1,178,284	1,226,015	1,251,772	1,338,034	1,324,362	1,356,286	1,326,735	1,337,485	1,318,845	1,346,548	(17.2)
3	福島市	1,086,597	1,146,202	1,191,494	1,217,527	1,183,452	1,184,975	1,165,431	1,118,357	1,097,631	1,129,420	(14.4)
4	会津若松市	453,199	456,988	434,184	457,079	464,094	458,867	455,951	437,538	409,457	436,676	(5.6)
5	白河市	288,825	299,077	304,762	323,433	321,339	318,193	324,830	321,178	335,927	344,989	(4.4)
6	南相馬市	171,599	253,928	306,409	364,213	341,669	338,084	329,242	320,066	313,108	287,137	(3.7)
7	須賀川市	253,121	255,109	262,005	264,166	270,730	272,239	267,484	261,347	267,234	265,389	(3.4)
8	本宮市	161,004	198,469	210,203	213,482	221,114	227,809	220,668	208,607	220,299	235,500	(3.0)
9	相馬市	151,042	175,662	184,355	186,761	270,031	262,288	261,053	245,062	190,109	220,777	(2.8)
10	二本松市	166,708	169,493	171,839	176,187	185,069	184,486	178,531	177,935	172,033	188,241	(2.4)

※数値は平成27年基準による県民経済計算の値を按分して推計。

【参考】市町村民経済計算とは

市町村民経済計算は、県内市町村の経済の規模、成長率、構造、所得水準などを明らかにするため、県内市町村の経済活動により1年間に生み出された付加価値を、**生産(市町村内総生産)**・**分配(市町村民所得)**の二つの側面から計量把握するための統計で、県内市町村の経済活動を包括的に記録している。

福島県では、県ウェブサイトにおいて毎年公表している。

福島県統計課ウェブサイト「ふくしま統計情報BOX」

